

## 2018年度入試情報 ~河合塾分析報告会から~

先日、河合塾大宮校で、教員対象の大学入試情報分析報告会が実施されました。130回生の多くが受験した第2回全統マーク模試(7/30実施)からみる、来春入試の志望動向等、多くの情報が提供されました。ここでは、130回生に直接関係する情報をお伝えします。参考にしてください。

### 【全体概況】

- 18歳人口、現役大学志願者数はともに対前年比で微減ながら、大学志願者総数はほぼ横ばい  
⇒ 現役生よりも学力が高い浪人生が増。2018年入試は激戦に…  
安全志向は高まっており、受験校数は増加へ(⇔模試で第8希望まで記入する生徒激増)
- 例年よりも早いセンター試験実施日  
⇒ センター後の私大一般入試&国公立2次まで長い! 勝負どころ 最も伸びる時期!!
- 堅調な景気動向の影響で、「文高理低」が鮮明に  
⇒ 文系では「経済」「法」「国際」系統、理系では「情報」系統が人気
- 西日本の高校から首都圏大学への流れが加速  
⇒ 特に東京&神奈川の大学(ex. 一橋、東京工業、横浜国立)、難関大への志願者が増加

### 【国公立大動向】

- 文系学部人気は鮮明に!  
⇒ 系統別志望者前年比指数: 人文104、法103、経済106/医歯薬&保健98、教員養成93/理97、工100、農94、生活科学107/芸術スポーツ97
- 難関10大学人気は堅調 特に東北・東工・一橋志望者は要注意!  
⇒ 志望者前年比指数: 北海道101、東北105、東京101、東京工業109、一橋107、名古屋97、京都99、大阪110、神戸98、九州99
- 一橋(社会&法)の後期廃止で、千葉(法政経)や横国(経済&経営)の後期日程は超激戦に…  
⇒ 影響は私大へも… ex. 法学部では、早稲田・中央・明治の志望者が増加

### 【私立大動向】

- ◆ 関東地区の私大では、ほぼすべての学部系統の志願指数が対前年比100%超!  
⇒ 景気回復、併願件数増加、西日本からの志願者流入 etc. 易しくなる要素は皆無  
今年度入試は入学定数厳格化の完成年 主要私大の合格者数はさらに絞り込まれる!!
- ◆ 最難関「早慶上理」は堅調  
⇒ 志望者前年比指数: 早稲田102(112)、慶応義塾95、上智101、東京理科110(112)  
注: 早稲田&東京理科の( )内はセンター利用方式、慶応の学力上位層はむしろ増加
- ◆ 早稲田大は「一般方式」の合格者を絞っているが、「センター」方式は微減  
⇒ 5教科タイプの生徒を欲しがっている! (明治・中央も同傾向)
- ◆ 東京理科大の「B方式: 一般方式」は募集減だが志願増、学力トップ層の志願者は減少  
⇒ 理科大志望者は弱気にならずに出願を!
- ◆ 難関「MARCH」は堅調 明治は入学定員1030名増!  
⇒ 志望者前年比指数: 明治101(107)、青山学院99(121)、立教107(108)、中央107(108)、法政103(108) \* 特に中央は3年連続で志願増、上位者数も増加

- ◆ 首都圏理系大学は落ち着いた志望動向  
⇒ 志望者前年比指数: 芝浦工業101(101)、東京電機114(85)、東京都市106(107)、東京農業89(97)、北里92(101)、工学院96(99) \* ( )内はセンター利用方式
- ◆ 文系学部が主力の「日東駒専」も堅調 専修の増加が目立つ!  
⇒ 志望者前年比指数: 日本104(92)、東洋105(108)、駒澤101(105)、専修112(110)  
創設2年目の東洋大情報連携学部(@赤羽)は志望者激増だが上位層は横ばい
- ◆ 首都圏主要女子大も落ち着いた志望動向  
⇒ 志望者前年比指数: 大妻女子97(98)、共立女子102(105)、白百合女子105(110)、実践女子108(116)、昭和女子109(103)、聖心女子124、清泉女子114(113)、津田塾100(99)、東京女子108(98)、日本女子105(105)、学習院女子110  
女子大でも社会科学系は高人気 ex. 津田塾(総合政策116)、昭和女子(会計ファイナンス165)

## 受験プラン作成スタート①

先週のLFで、進路指導主事の細村先生から「出願校の決定について」と題する講話がありました。出願校を「自分の偏差値±5」の幅で選択するという説明がありましたが、「自分の偏差値(基準線)」について、何人かの生徒から質問がありましたので、ここでは、基準線の設定法について説明します。「自分の偏差値」は、9月以降の3回のベネッセ駿台模試のデータを主に用いて設定します。例えば…

**A: 成績が順調に上昇** → やや第3回より **A**

⇒

各科目がバランスよく伸びているかの確認は重要。特に文系の地歴公民で総合SSを引き上げている場合は、やや下方修正する必要あり。

**B: 成績が下がり気味** → 第3回の成績で **B**

⇒

単純に勉強不足で低下なら右図でOK。成績下降の原因が明白で克服可能な場合は、やや上方に修正する必要あり。

**C: 成績に波がある** → 第2&3回の中間 **C**

⇒

第3回で成績が下降することはよくあります。この場合も、「勉強をしていなくて or しているのに…」 「当日の体調が悪くて…」等、その原因によって補正の仕方は異なってきます。